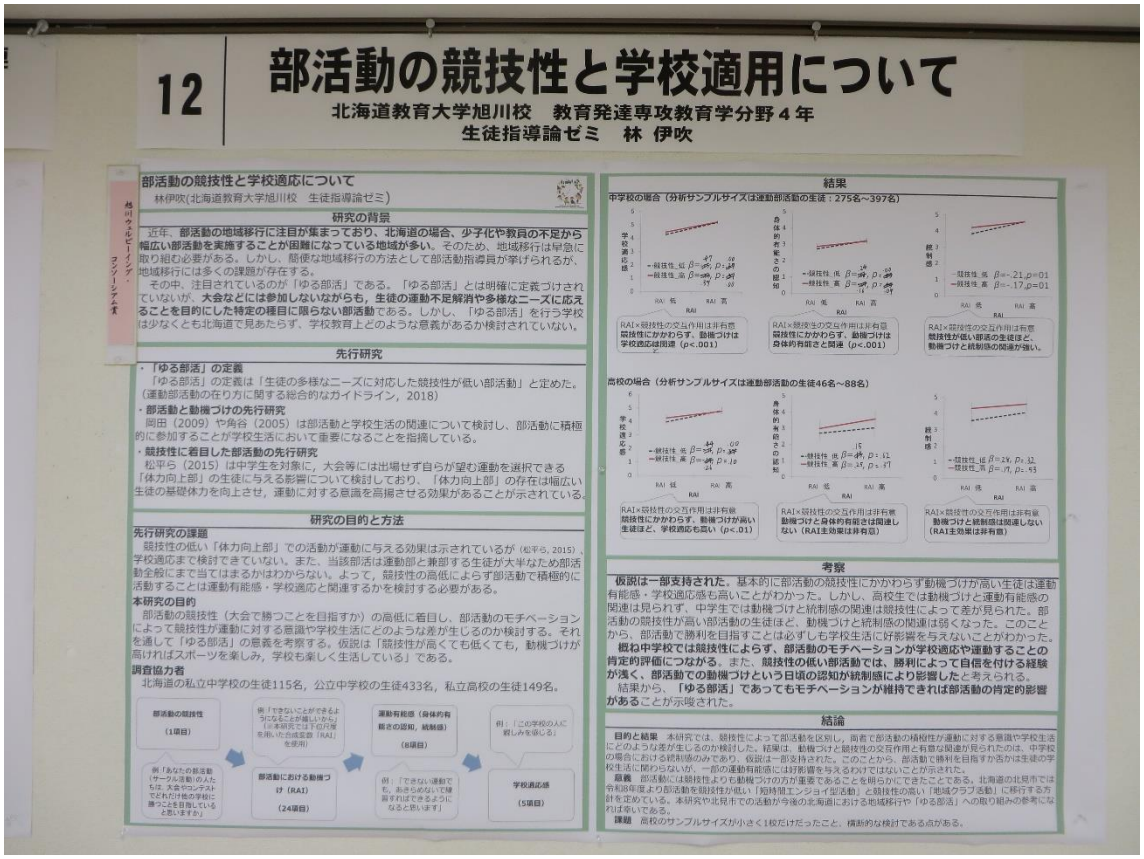
２０２４年度旭川ウェルビーイング・コンソーシアム
合同成果発表ポスター受賞作品

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム（AWBC 賞）

部活動の競技性と学校適用について

旭北海道教育大学旭川校　教育発達専攻教育学分野4年
生徒指導論ゼミ　林　伊吹

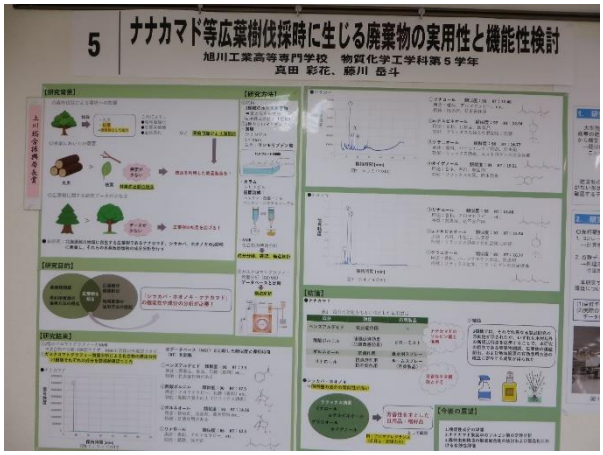


本研究は、「部活動で勝つことが目的でなくても動機づけが高ければ運動有能感や学校適応感が高まる」という仮説を検討し、中学生 309 名、高校生 149 名を対象にアンケート調査を実施した。概ね仮説通りで勝利を目的とすることは学校適応感などに関連しなかったが、中学生では勝利を強く意識する部活動に所属するほど、動機づけと運動有能感の関連が弱くなった。以上の結果から、動機づけが学校生活において重要であることが示唆された。

上川総合振興局長賞

ナナカマド等広葉樹伐採時に生じる廃棄物の実用性と機能性検討

旭川工業高等専門学校　物質化学工学科
第5学年真田彩花、藤川岳斗

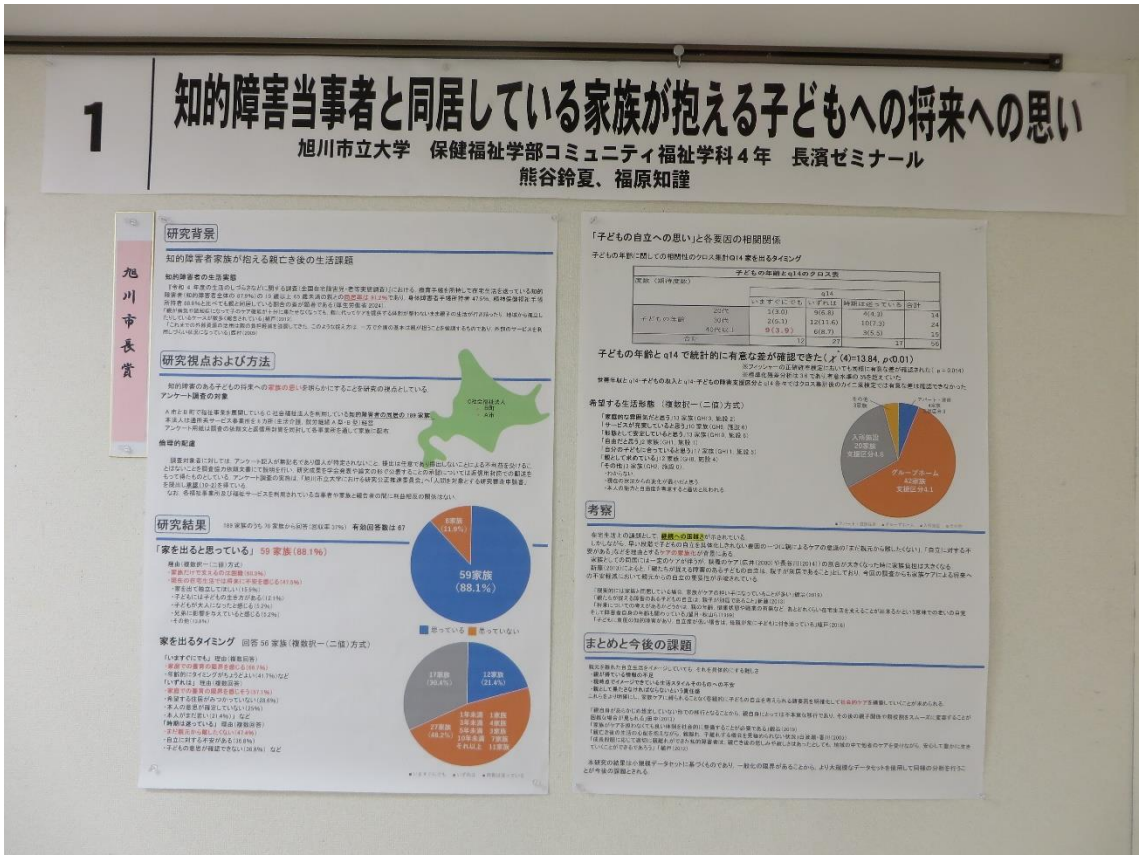


北海道旭川の代表的広葉樹(ナナカマド・シラカバ・ホウノキ)の伐採時に発生する枝葉の有効な活用法を検討した。枝葉の水蒸気蒸留物をカラムクロマトグラフィーおよびガスクロマトグラフィーで成分分析を実施した。得られた成分情報から機能性を活かした商品開発を提案したい。この研究により廃棄物削減、林業の付加価値向上をはかるだけではなく、SDGs に配慮した地域資源の新たな活用法を生むことで、森林活用の広がりが期待される。

旭川市長賞

知的障害当事者と同居している家族が抱える子どもの将来への思い

旭川市立大学　保健福祉学部コミュニティ福祉学科4年長濱ゼミナール
熊谷　鈴夏、福原　知謹



知的障害のある子どもと同居している家族を対象に子どもの将来の生活への思いをアンケートによって調査したところ、子どもが将来、家を出ると考えている家族が多いこと、家を出るに当たってグループホームを希望している家族が多いことがわかった。併せて親の子どもへの思いの強さからくるケアの家族化の現状と自立後の生活に対する不安からケアの社会化を高めることによって自立生活の安定を図る重要性が示唆された。